

CURIOUS MINDS

平成20年6月 第9号

発行: せんだい若者サポートステーション
〒982-0001 仙台市太白区八本松1丁目12-12
TEL: 022-246-9685 FAX: 022-246-9691
Mail: info@saposute.ne.jp
URL: http://www.saposute.ne.jp

* せんだい若者サポートステーションは、厚生労働省の「若者自立支援ネットワーク整備事業」です。

～ “curious minds” の願い ～

“curious” とは、「好奇心のある」の意味。せんだいサポステは、好奇心（＝楽しみを見出す力）をととても大切に考えています。せんだいサポステに集まる若者も、一人ひとりが素敵な好奇心の持ち主。その好奇心を輝かせ、自分の未来に向かって歩みだしていこう、という思いで、この“curious minds”という名をつけました。

せんだいサポステの活動のご報告、そしてこれからのイベントのご案内等を、コンパクトにまとめてお伝えします。

せんだいサポステ information

県民ロビーコンサート でのしごと体験

毎月第4水曜日に県庁1階県民ロビーで開催されている「県民ロビーコンサート」。この6月で225回を迎える、歴史と人気のあるイベントです。この「県民ロビーコンサート」に、せんだいサポステのメンバーが「しごと体験」として、毎回5名参加させていただくことになりました。

体験内容は、客席（約200席）の設置・撤収で、具体的には
椅子の運び出し→並べる→パンフレットを置く→終了後の撤収 です。

既に、4月と5月の2回、体験をしていますが、参加メンバーの感想をみると

- ◎「職員の方に親切に教えていただいたお陰でちゃんとこなせ、自信になった」
 - ◎「県庁内にもいろいろな仕事があることが分かり、職業観が広がった」
 - ◎「今回は、連携をとって、もう少し効率よくこなしたい」
- など、仕事を通しての実感や気付きが得られたようです。



5月28日(水)の様子
この回は、ピアノ演奏が行われ、メンバーは本格的な演奏も楽しむことができました

この「県民ロビーコンサート」での「しごと体験」は、平成20年度は毎月参加させていただきます。職員の方やコンサートにいらっしゃる県民の方との触れ合いは、メンバーにとって貴重な経験になるはずですよ。

出前相談会のお知らせ

最近では相談のご希望が増え、定員に達したためお断りをしなければならないケースも出てきました。せんだいサポステとしましても、できるだけ皆様のご希望にそえるよう改善をしていきますが、よろしければ早めのご予約をお願い致します。今後も、多くの皆様にお目にかかれることを楽しみにしています。

“NPO法人わたげの会・せんだいサポステ合同フォーラム”のご案内
『社会で自分らしく生きていく、そのために必要な時間』

せんだいサポステと運営母体のNPO法人わたげの会との合同フォーラム。「動けない若者が動き始めるまでのプロセス」を分かりやすくお伝えし、さらに「元気になった若者が就労へ踏み出すために必要な支援」について考えます。詳細は後日、チラシやホームページにてご案内します。是非ご参加下さい。

日時: 平成20年7月19日(土) 14:00~16:30(予定)
会場: 仙台サンプラザ 3階 クリスタルルーム

～ 7月・8月の予定 ～

10:00~12:00 はセミナー(予約不要)
13:00~16:00 は個別相談会(要予約)を行います

◎7月8日(火) 仙台保健福祉事務所塩釜総合支所
(塩釜市北浜4丁目8-15 TEL 022-363-5502)

◎7月15日(火) 仙台保健福祉事務所黒川支所
(黒川郡富谷町ひより台2丁目42-2 TEL 022-358-1111)

◎8月12日(火) 大河原合同庁舎
(柴田郡大河原町字南129番1号 TEL 0224-53-3111)

◎8月26日(火) 仙台保健福祉事務所岩沼支所
(岩沼市中央3丁目1-18 TEL 0223-22-2188)

詳細は、せんだいサポステ(022-246-9685)までご連絡を頂るか、ホームページをご覧ください
(http://www.saposute.ne.jp)

ご活用ください

この“curious minds”のバックナンバーが、せんだい若者サポートステーションのホームページからダウンロードできるようになりました。もちろん、最新号もその都度アップしていきます。是非とも、ホームページ版もご活用ください。
URL: http://www.saposute.ne.jp

きょうちゃんの

お仕事探検隊 ⑤

お話を伺った方

・・・英会話スクールSupervisor 中野里子(なかのさとこ)さん

里子さんは、英会話教室のSupervisorです。経理、生徒・先生のスケジュール管理から、先生の面接までひとりで行ってらっしゃいます。「いっぱいいっぱいになることもありますね。でも見栄っ張りなのか、弱いところは見せたくないんですよ。だから、本当はパニックでも、のんびりやっているように見えるみたいです」

先生の数は現在8名。オーストラリア、アメリカ出身の方々が中心だそうです。「先生との面接の際のやり取りは英語」とのこと、わたしは自分が面接をするわけでもないのに心の中で、「ひえええ、それは大変だ！」と叫んで汗をかいてしまいました。「訛りやクセを見たいので、英語です」

このコーナーは、せんだい若者サポートステーションのメンバーに担当してもらっています。自分の“今”、そして“これから”を懸命に模索している若者の声をお届けします。

始まりはいつも突然 運命を連れて行くTime tripin' ride
不可能を超えて 掴み取るさ Climax
変わることを恐れなくて 明日の自分見失うだけ
誰より高い 空へ飛ぼうよClimax Jump!
(「Climax Jump DEN-LINER form」より)



「先生との習慣の違いで戸惑うこともありますね。流し台に雑巾がボールのように丸めて絞って置いてあるのを見たときは、何だコレは?と思いましたが」

考え方などにも違いがあって喧嘩することもあるそうなのですが、対応法を覚えれば大丈夫とおっしゃっていました。「この仕事をしていると、普段だったら会わないような人に会えるのが楽しいです。生徒さんの中には、中学生や大学の教授もいます。プライベートで辛いことがあっても、たくさんの人と会うことで気分がまぎれるんですよ。人との出会いが一番です！」

生徒さんの中には、忙しい人が多いそうです。「忙しい人は時間の使い方が上手なんですよ。暇な人っていうのは、時間があるのになんだかんだ理由をつけて何もやらない」

「若い人には可能性がいっぱいあるし、今しかできないこともあるでしょ?だから、いろいろやってみて欲しいですね」そこで、失敗することについてお伺いしてみました。「失敗しても軌道修正すれば良いですし、それに、成功はしなくてもいいと思います」このお話で、わたしは、失敗はチャレンジした証なのではないかと感じました。大失敗をやらかしてしまっただけでも、それは、やろうと思ったことにチャレンジしたという証拠。成功しなくとも、成長はしています。やろうと思っていたのにやらなかった、とは全然違うことです。

「あの時あすればよかった……と、後悔することはあまりしたくないものですよ」
「この仕事はずっと続けたいです。でも、何かは変えていかないとダメな気持ちがあります。里子さんは、尊敬していた上司から「守りに入ったらおしまいだよ」と言われた言葉を、今も大切に胸にしまっているようでした。「英語は、みんな話したいけど難しいし、照れもありますよね。そのためにこの教室があるんです。中学校程度の英語ができれば大丈夫!なんとかなりますよ。(良い意味で)ずうずうしい人、度胸のある人の方が上手いきます」わたしは密かに、「I didn't study at all. が得意じゃいけない」とまた汗をかいていました。

ブルー系でトータルコーディネートされた、里子さんのファッションからは夏を感じました。情熱的でポジティブ思考!、そんな印象も受けました。「仮面ライダー電王」が好きという共通点もあり、楽しかったです。わたしのノートには、「(里子さんは)キンタロスが好き」としっかり書かれています。(ちなみにわたしは、リュウタロスとデネブが好きです)
「実は、結構人見知りなんです」とおっしゃっていましたが、気さくでとてもお話しやすかったです。里子さんは素敵な笑顔の魔法を持っている方です。その魔法にかけられて、ガチガチに緊張することなくインタビューに臨むことができました。中野里子さん、本当にありがとうございました。ピンク色のハーブティーはとても可愛らしくて美味しかったです。
(BY きょうちゃん)

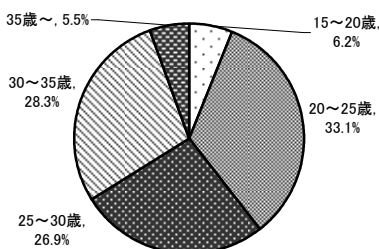


せんだいサポステDATA

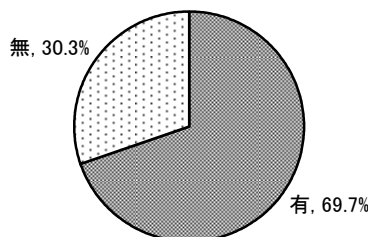
※平成19年5月14日～平成20年6月17日現在

登録者数 151名 (男性117名 女性34名)

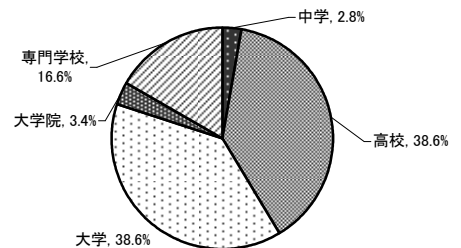
＜登録者の年齢＞



＜職業経験の有無＞



＜最終学歴(中退・在学中含む)＞



来所者のべ数 2078名
 相談件数 1018件
 イベント参加者のべ数 1052名
 進路決定者数 32名 (正規雇用6名 フルタイム非正規雇用22名 職業訓練3名 進学1名)